

# 全国中小企業動向調査結果

(2020年1-3月期実績、4-6月期以降見通し)

## 小企業の景況

(原則従業者20人未満)

小企業の景況は、新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に下押しされ、厳しい状況になってきている

(前回)足元で一部に弱さがみられる

- 業況判断DIは、前期からマイナス幅が拡大し、▲44.4となった。  
来期もマイナス幅が拡大する見通し。 ← 5ページ
- 売上DIは、前期からマイナス幅が拡大し、▲44.8となった。  
来期もマイナス幅が拡大する見通し。 ← 10ページ
- 採算DIは、前期からマイナス幅が拡大し、▲27.5となった。  
来期もマイナス幅が拡大する見通し。 ← 11ページ

■ 主要DI(カッコ内は前回調査からの変動幅)

業況判断DI	売上DI	採算DI	資金繰りDI	借入DI
▲44.4(-15.2)	▲44.8(-17.2)	▲27.5(-15.8)	▲34.7(-12.7)	▲13.2(-3.8)

## 中小企業の景況

(原則従業員20人以上)

中小企業の景況は、新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に下押しされ、厳しい状況になってきている

(前回)足元で弱さがみられる

- 業況判断DIは、前期からマイナス幅が拡大し、▲24.6となった。  
来期はマイナス幅が拡大、来々期は縮小する見通し。 ← 17ページ
- 売上DIは、前期からマイナス幅が拡大し、▲21.9となった。  
来期はマイナス幅が拡大、来々期は縮小する見通し。 ← 20ページ
- 純益率DIは、前期からマイナス幅が拡大し、▲20.3となった。  
来期はマイナス幅が拡大、来々期は縮小する見通し。 ← 21ページ

業況判断DI	売上DI	純益率DI	資金繰りDI	長期借入難易DI
▲24.6(-10.3)	▲21.9(-9.9)	▲20.3(-7.1)	▲5.5(-6.0)	7.6(-4.4)

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 総合研究所 小企業研究第二グループ Tel:03-3270-1691(担当:星田、中谷)  
中小企業研究第一グループ Tel:03-3270-1703(担当:藤原、藤井)  
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティノースタワー

## 目次

調査結果の概要	1
---------	---

### 【小企業編】

概況	3
調査の実施要領	4
業況判断	5
売上	10
採算	11
資金繰り、借入	12
経営上の問題点	13
設備投資、価格動向	14

### 【中小企業編】

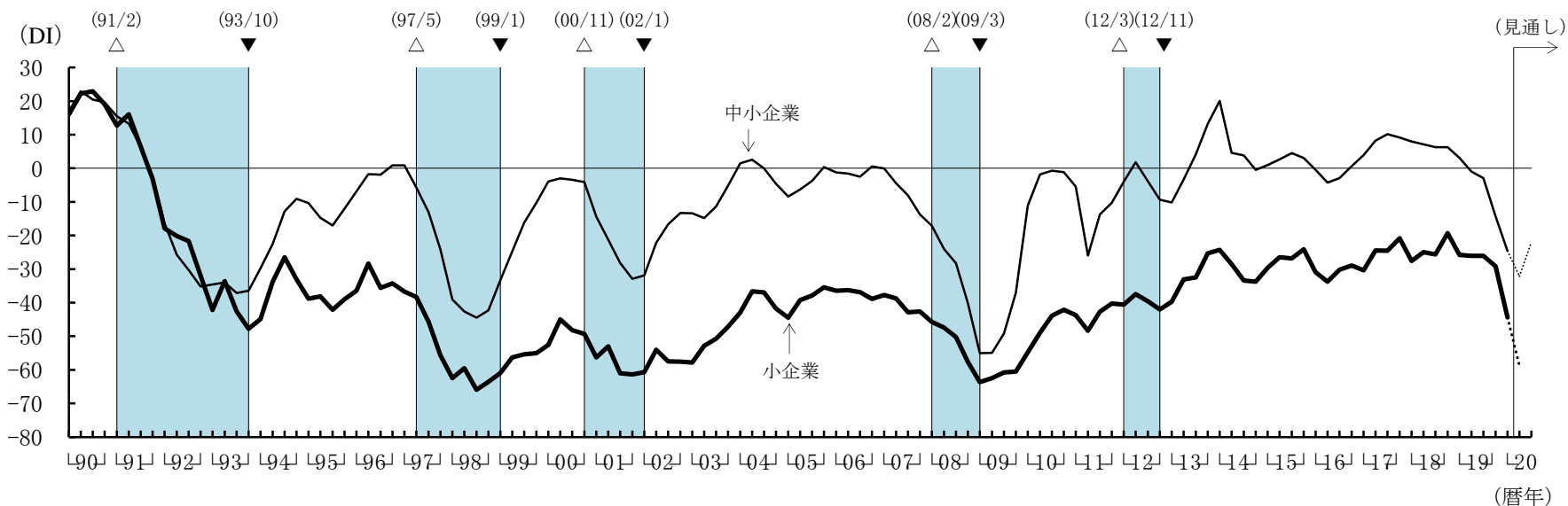
概況	15
調査の実施要領	16
業況判断	17
売上	20
利益	21
価格、金融関連	22
雇用、設備	23
経営上の問題点	24

# 調査結果の概要

## 1 業況判断DIの推移

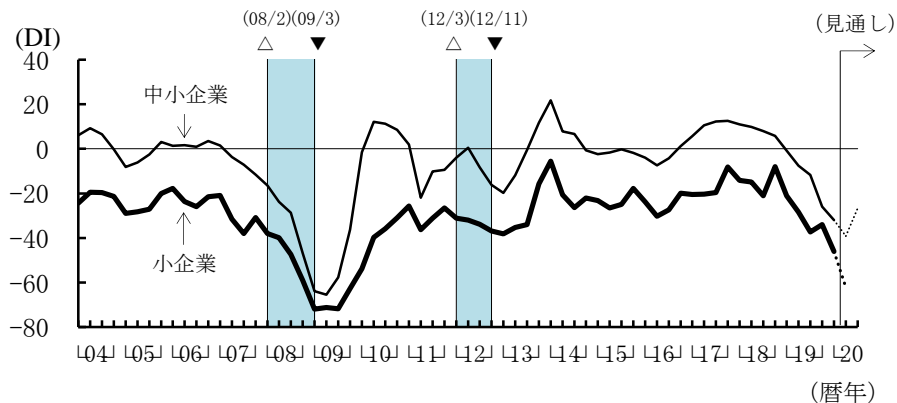
### ①全業種計

	18.1-3	18.4-6	18.7-9	18.10-12	19.1-3	19.4-6	19.7-9	19.10-12	20.1-3	20.4-6	20.7-9
中小企業	8.0	7.1	6.3	6.3	3.1	▲ 0.9	▲ 2.9	▲ 14.3	▲ 24.6	見通し	見通し
小企業	▲ 27.6	▲ 24.9	▲ 25.6	▲ 19.3	▲ 25.8	▲ 26.0	▲ 26.0	▲ 29.2	▲ 44.4	▲ 58.9	-



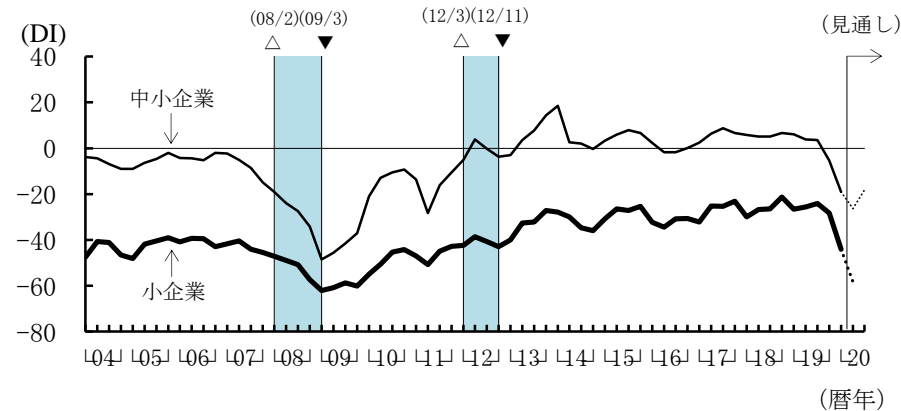
### ②製造業

	19.7-9	19.10-12	20.1-3	20.4-6	20.7-9
中小企業	▲ 11.7	▲ 25.9	▲ 31.9	▲ 39.2	▲ 26.7
小企業	▲ 37.2	▲ 33.9	▲ 46.0	▲ 62.1	-



### ③非製造業

	19.7-9	19.10-12	20.1-3	20.4-6	20.7-9
中小企業	3.6	▲ 5.4	▲ 19.0	▲ 26.3	▲ 18.2
小企業	▲ 24.1	▲ 28.4	▲ 44.1	▲ 58.3	-

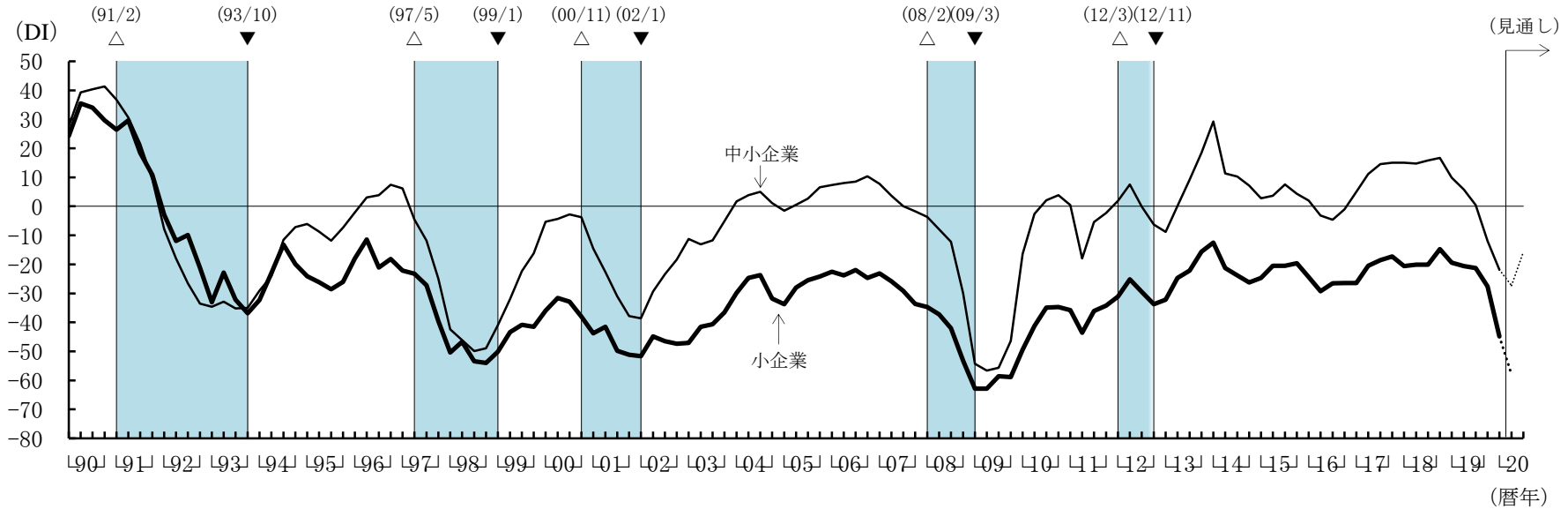


- (注) 1 小企業のDIは、調査対象企業の業況が「良い」と回答した企業割合から「悪い」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 中小企業のDIは、調査対象企業の業況が前年同期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値(季節調整済)。  
 3 △は景気の山、▼は景気の谷、シャドー部分は景気後退期を示す(以下同じ)。

## 2 売上DIの推移

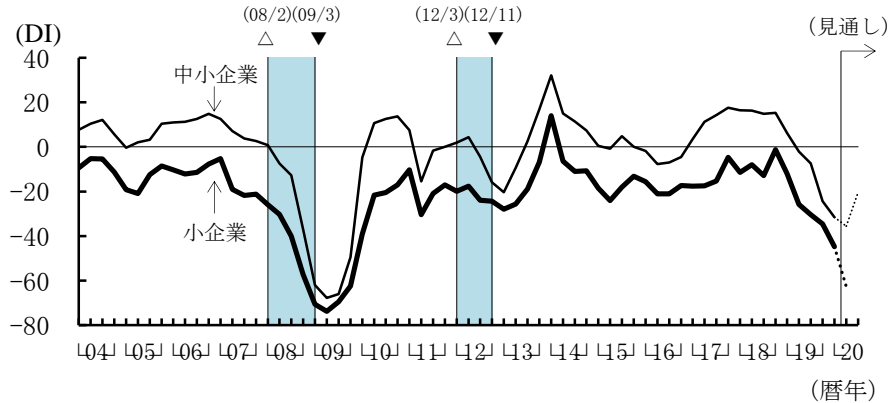
### ①全業種計

	18.1-3	18.4-6	18.7-9	18.10-12	19.1-3	19.4-6	19.7-9	19.10-12	20.1-3	20.4-6	20.7-9
中小企業	15.0	14.7	15.8	16.7	9.9	5.8	0.4	▲ 12.0	▲ 21.9	見通し	見通し
小企業	▲ 20.6	▲ 20.1	▲ 20.1	▲ 14.8	▲ 19.4	▲ 20.6	▲ 21.3	▲ 27.6	▲ 44.8	▲ 58.0	-



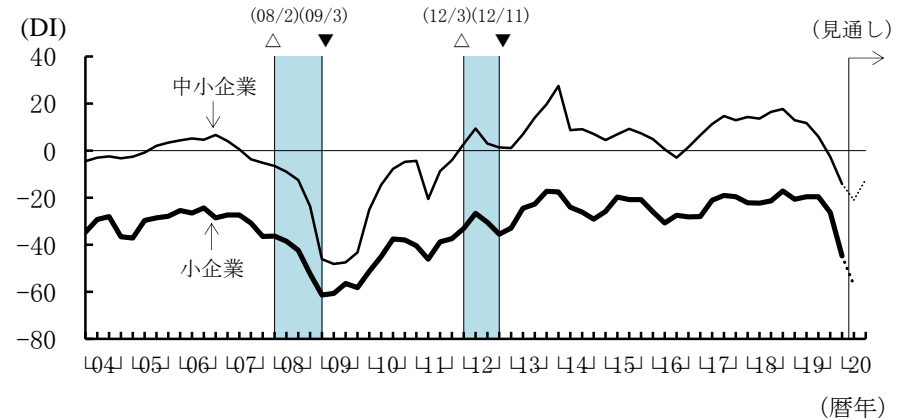
### ②製造業

	19.7-9	19.10-12	20.1-3	20.4-6	20.7-9
中小企業	▲ 7.4	▲ 24.4	▲ 31.5	▲ 35.5	▲ 20.4
小企業	▲ 30.4	▲ 34.5	▲ 44.8	▲ 62.6	-



### ③非製造業

	19.7-9	19.10-12	20.1-3	20.4-6	20.7-9
中小企業	5.9	▲ 2.7	▲ 14.2	▲ 21.0	▲ 12.3
小企業	▲ 19.7	▲ 26.3	▲ 44.8	▲ 57.2	-



- (注) 1 小企業のDIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 中小企業のDIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値 (季節調整済)。

# 小 企 業 編

(2020年1-3月期実績、4-6月期見通し)

小企業の景況は、新型コロナウイルス感染症の影響により  
大幅に下押しされ、厳しい状況になってきている

## [調査の実施要領]

調査時点 2020年3月中旬  
 調査対象 当公庫取引先 10,000 企業  
 有効回答数 6,507 企業 [回答率 65.1 %]

### <業種構成>

		調査対象	有効回答数	
製造業	(従業者20人未満)	1,500 企業	1,000 企業	(構成比 15.4 %)
卸売業	(同 10人未満)	800 企業	613 企業	(同 9.4 %)
小売業	(同 10人未満)	2,450 企業	1,515 企業	(同 23.3 %)
飲食店・宿泊業	(同 10人未満)	1,800 企業	1,013 企業	(同 15.6 %)
サービス業	(同 20人未満)	2,000 企業	1,322 企業	(同 20.3 %)
情報通信業	(同 20人未満)	160 企業	86 企業	(同 1.3 %)
建設業	(同 20人未満)	1,100 企業	801 企業	(同 12.3 %)
運輸業	(同 20人未満)	190 企業	157 企業	(同 2.4 %)

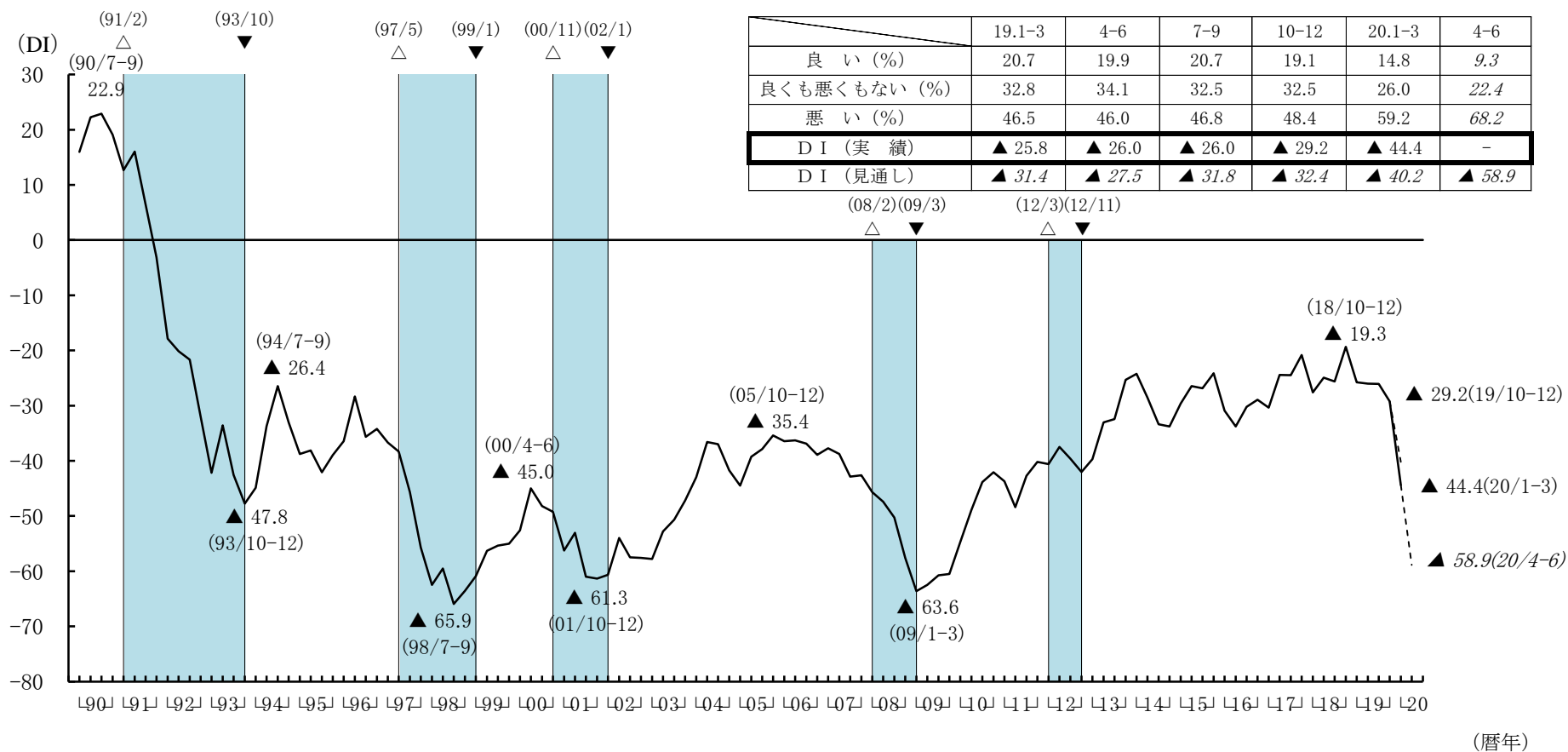
(参考)

法人	4,348 企業	(構成比 66.8 %)
個人	2,159 企業	(同 33.2 %)

# 1 業況判断

- 今期の業況判断DI（全業種計）は、前期（2019年10-12月期）からマイナス幅が15.2ポイント拡大し、▲44.4となった。
- 来期も、マイナス幅が拡大し、▲58.9となる見通しである。

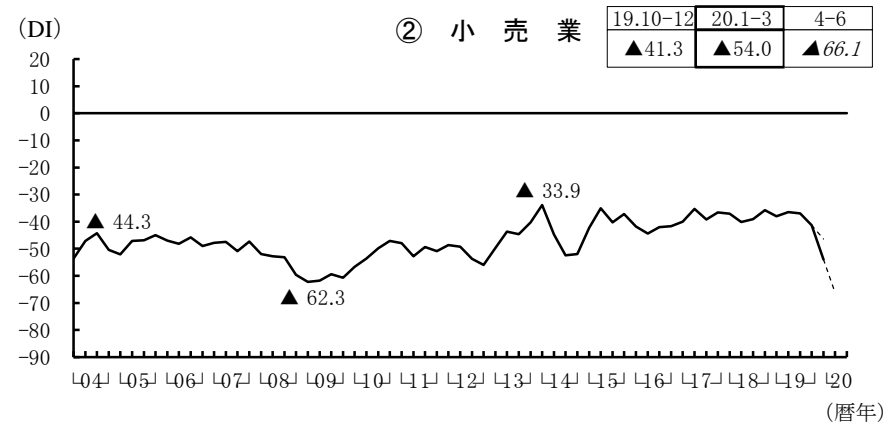
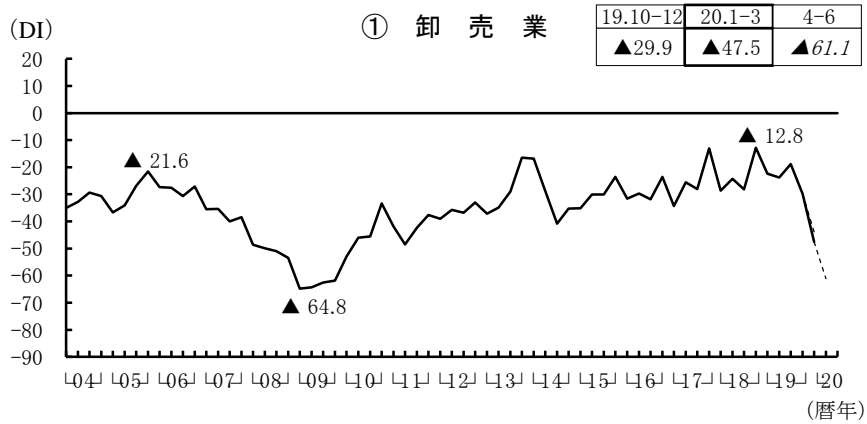
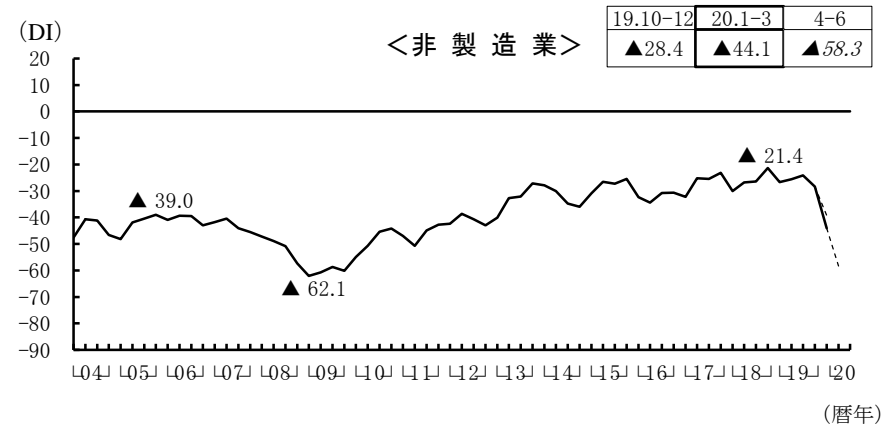
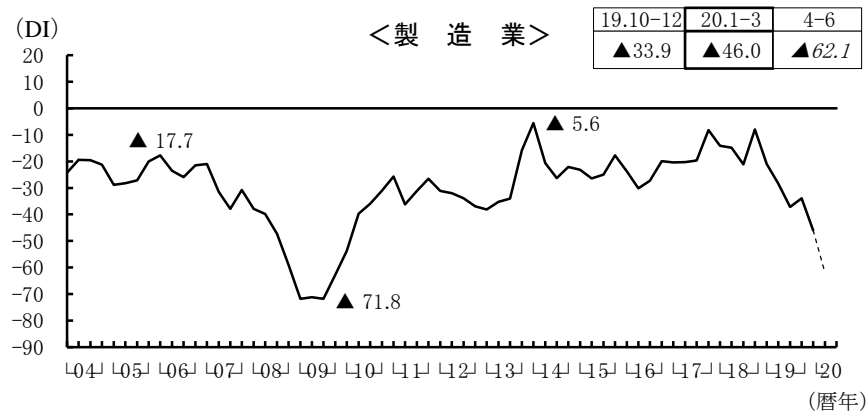
図-1 業況判断DIの推移（全業種計）



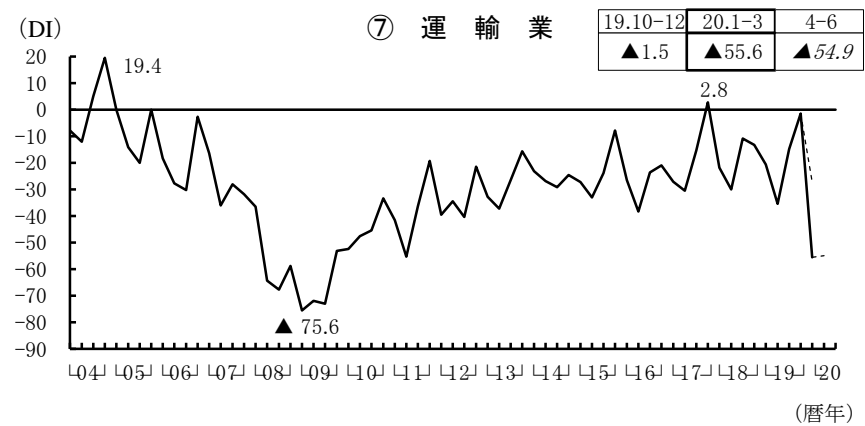
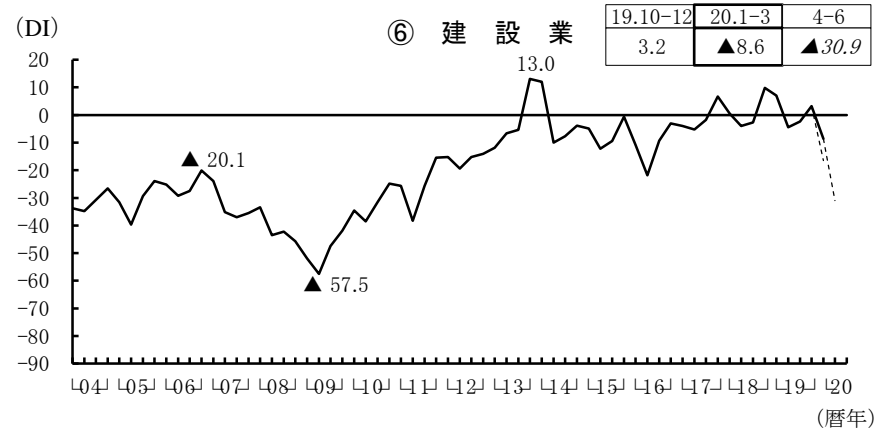
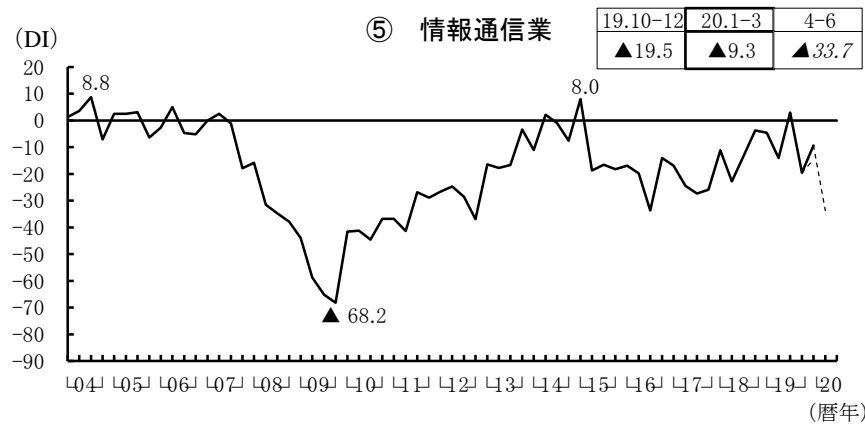
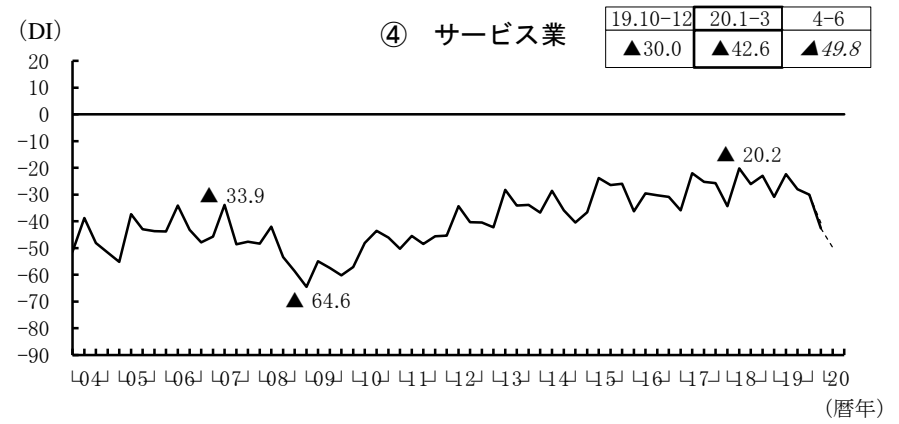
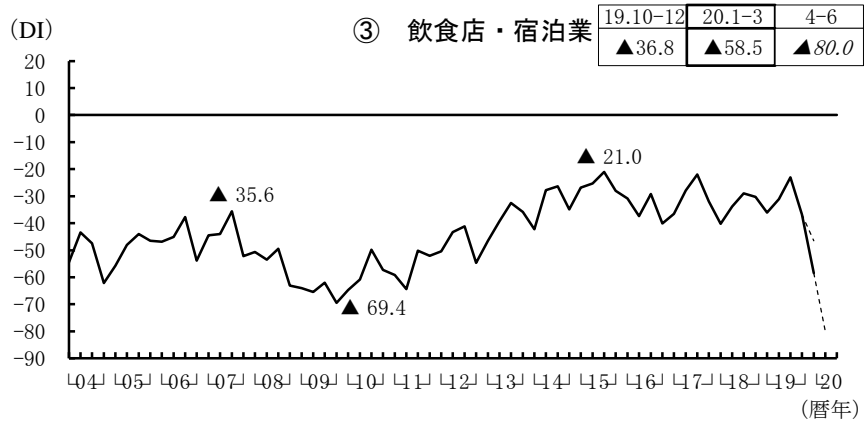
(注) 1 DIは、調査対象企業の業況が「良い」と回答した企業割合から「悪い」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。

- 業況判断DIを業種別にみると、製造業（▲46.0）、非製造業（▲44.1）ともにマイナス幅が拡大した。非製造業を構成する大分類業種のうち、情報通信業を除く全ての業種で低下した。
- 来期も、製造業、非製造業ともにマイナス幅が拡大する見通しである。

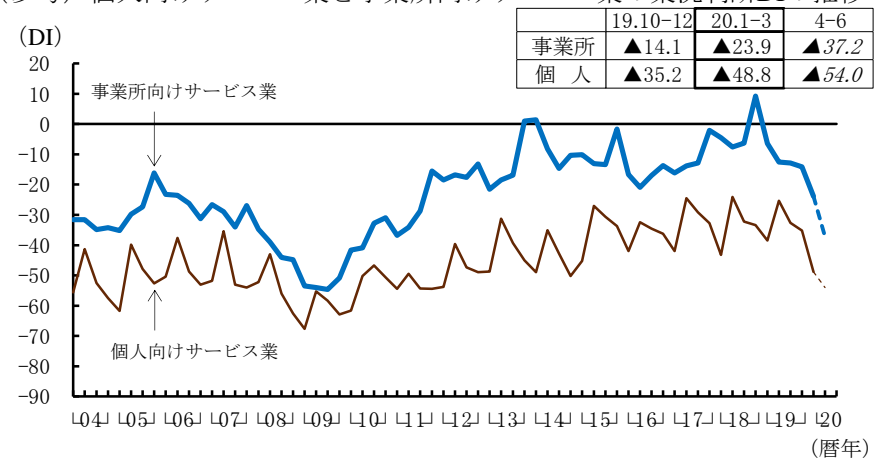
図－２ 業種別業況判断DIの推移





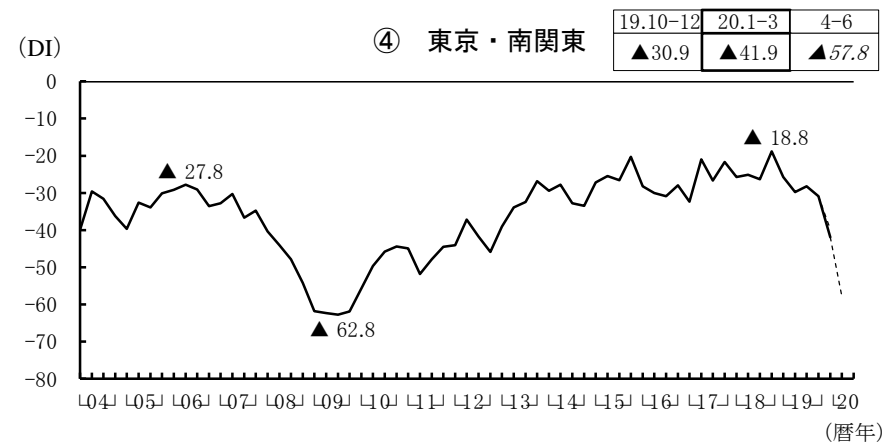
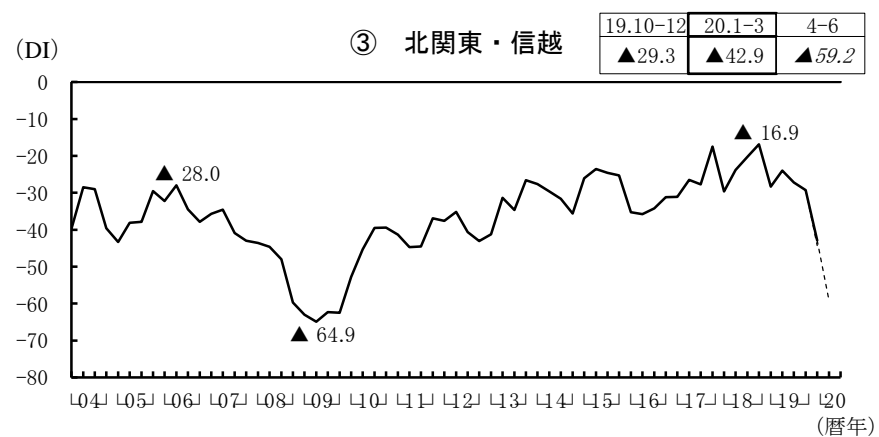
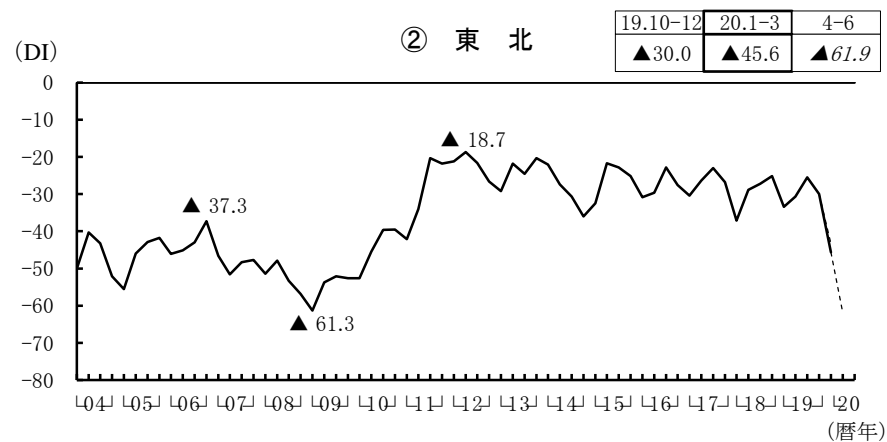
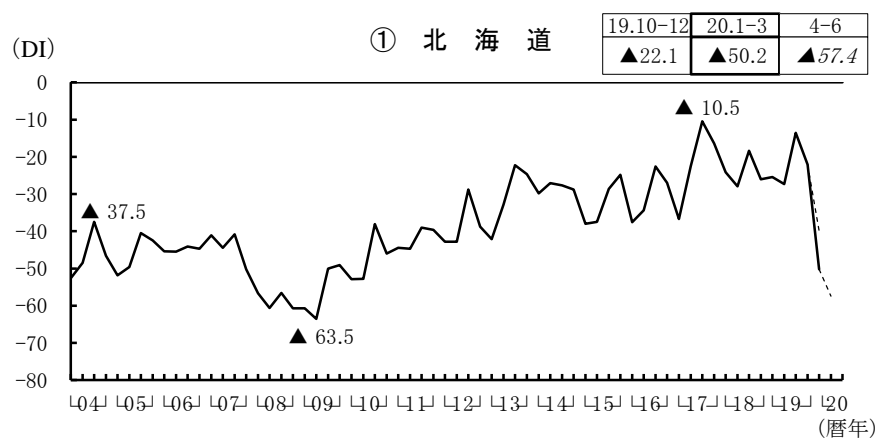


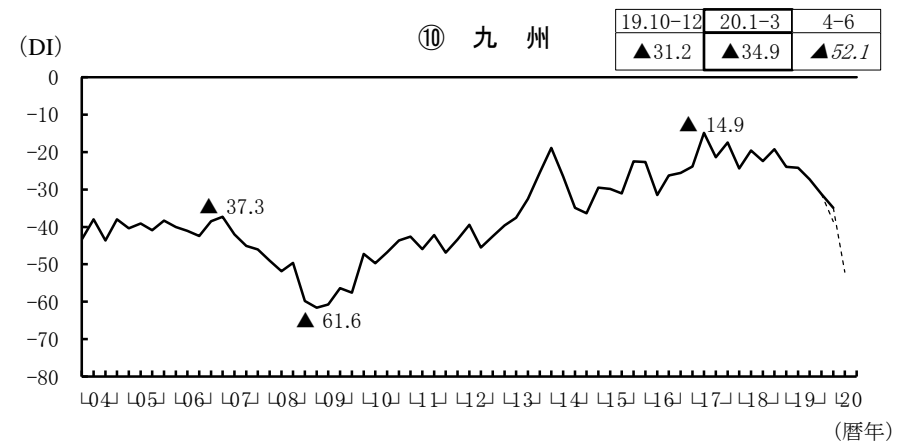
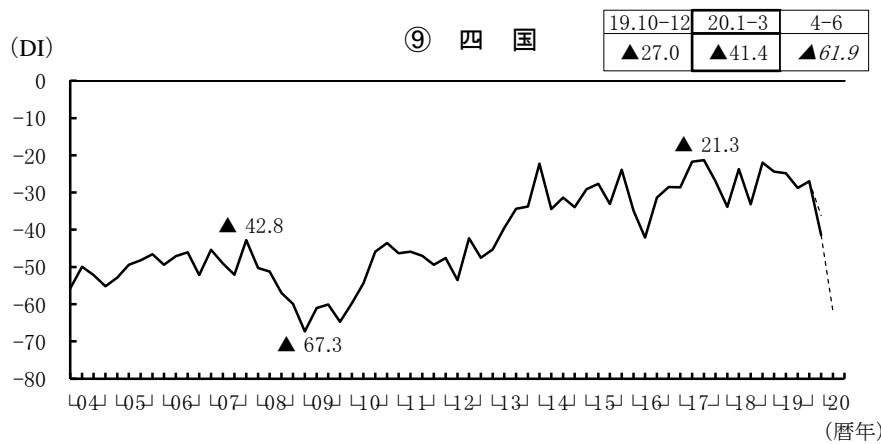
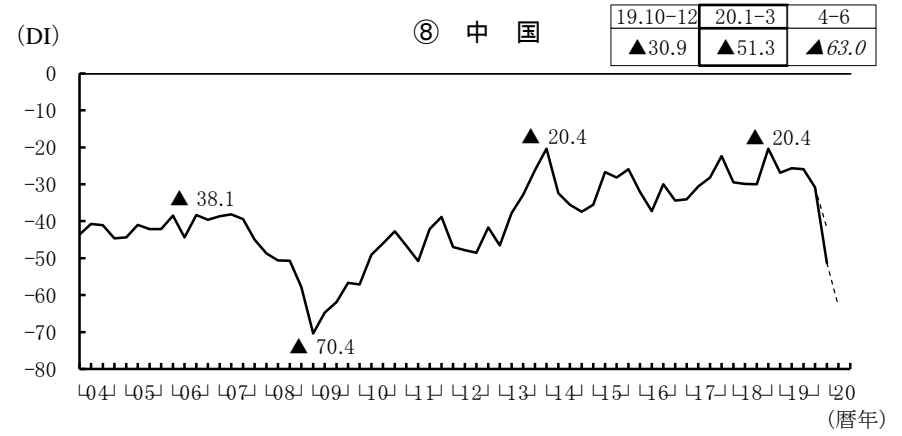
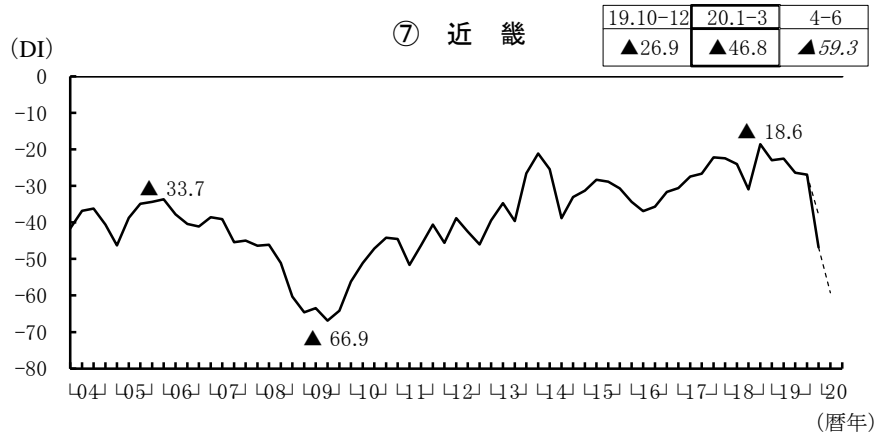
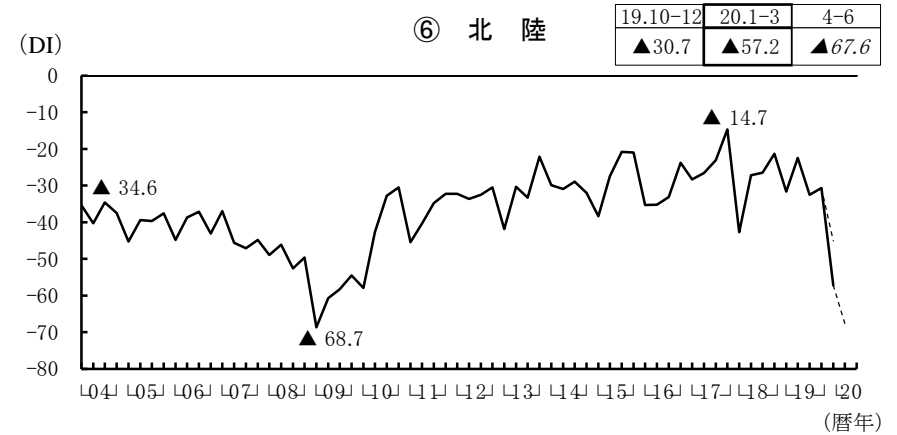
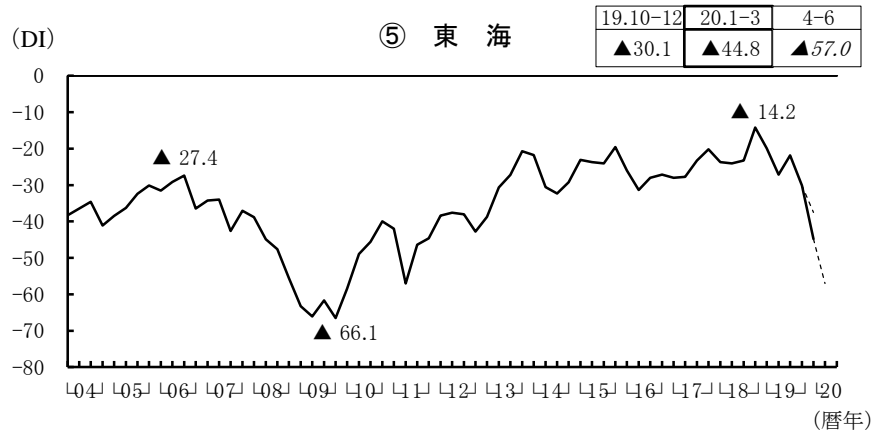
(参考) 個人向けサービス業と事業所向けサービス業の業況判断DIの推移



- 業況判断DIを地域別にみると、全ての地域でマイナス幅が拡大した。
- 来期も、全ての地域でマイナス幅が拡大する見通しである。

図－3 地域別業況判断DIの推移

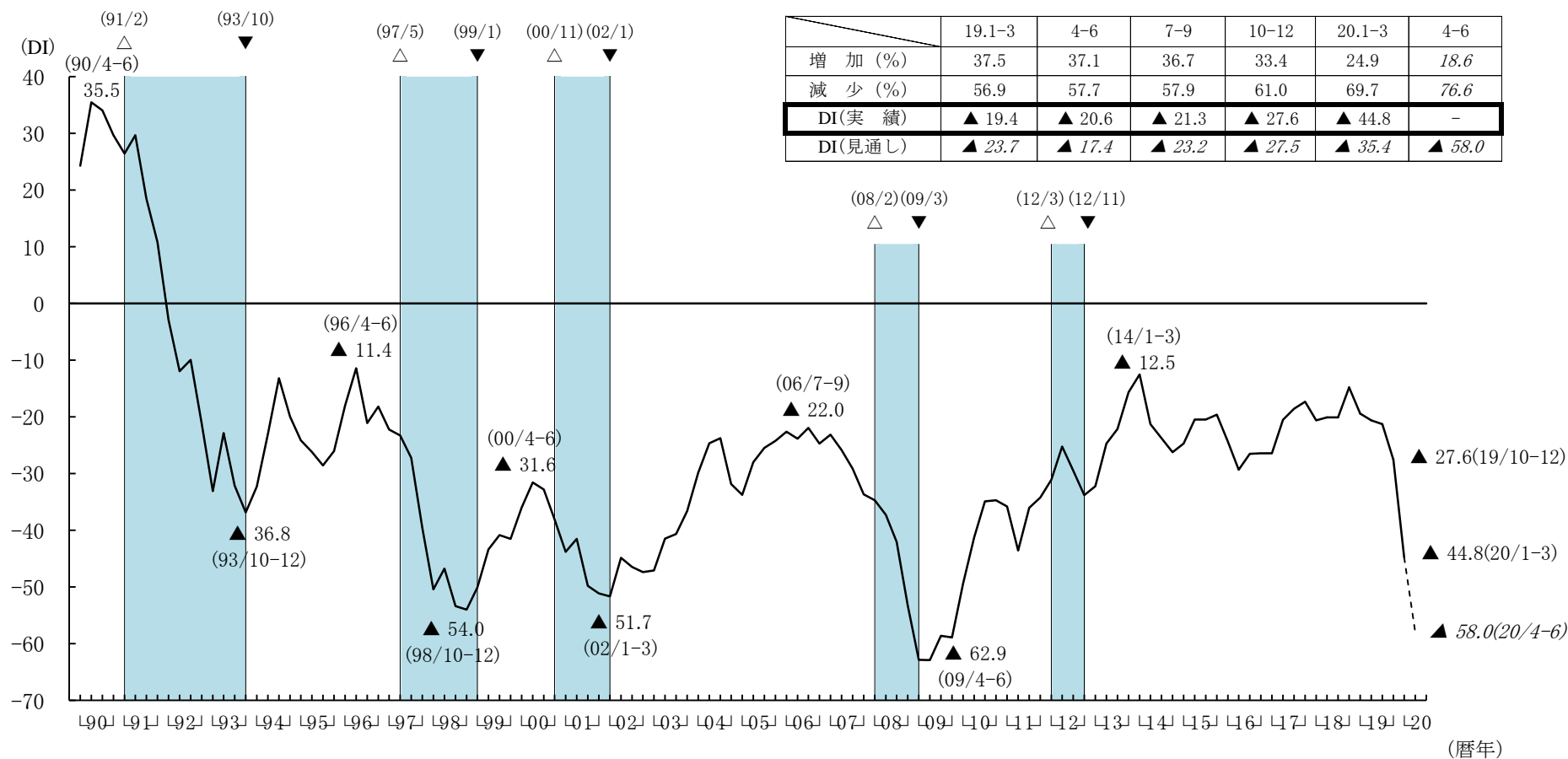




## 2 売上

- 今期の売上DI(全業種計)は、前期からマイナス幅が17.2ポイント拡大し、▲44.8となった。
- 来期も、マイナス幅が拡大する見通しである。

図－4 売上DIの推移（全業種計）



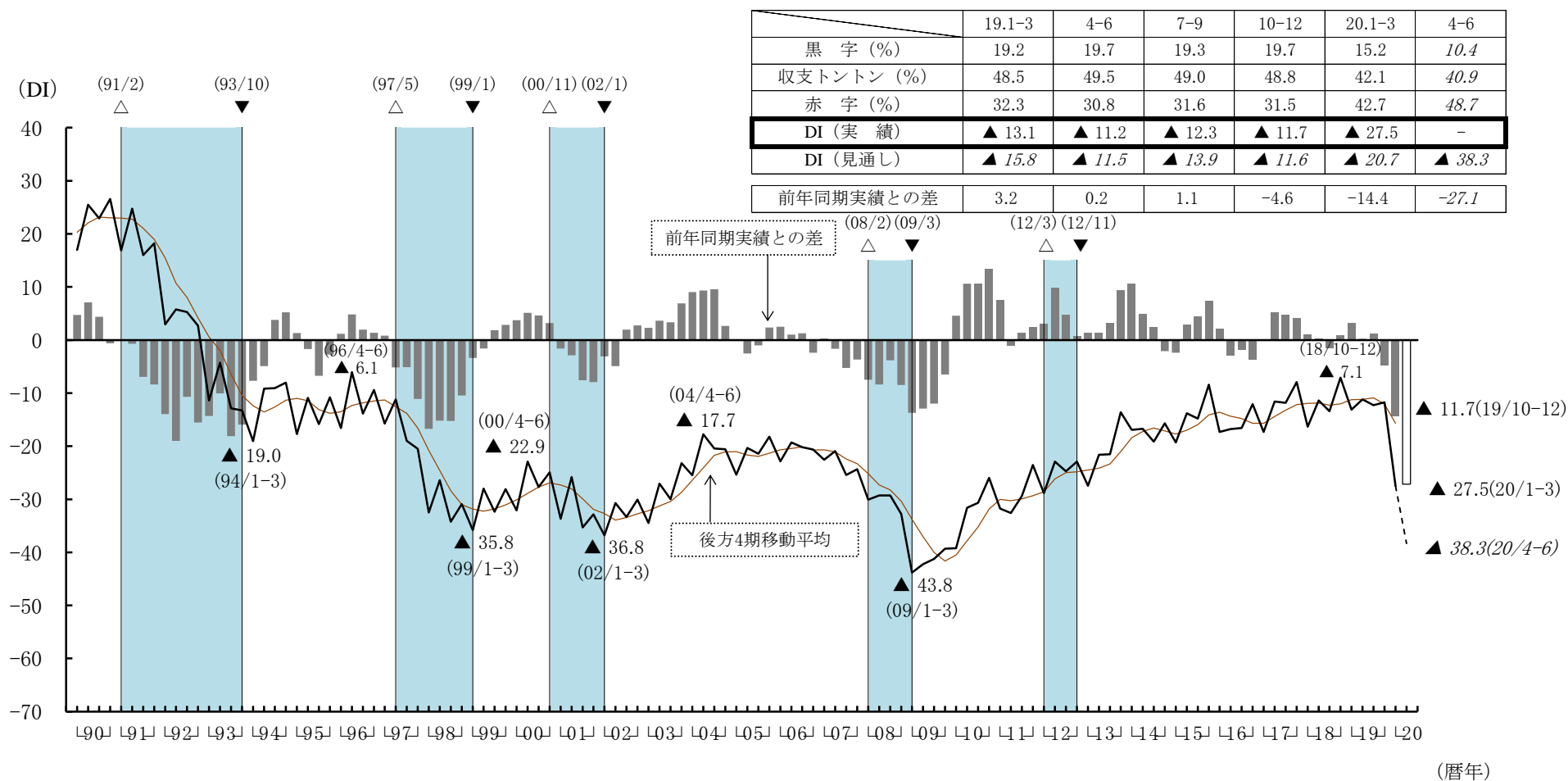
(注) 1 DIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値。

2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。

### 3 採算

- 今期の採算DI(全業種計)は、前期からマイナス幅が15.8ポイント拡大し、▲27.5となった。
- 来期も、マイナス幅が拡大する見通しである。

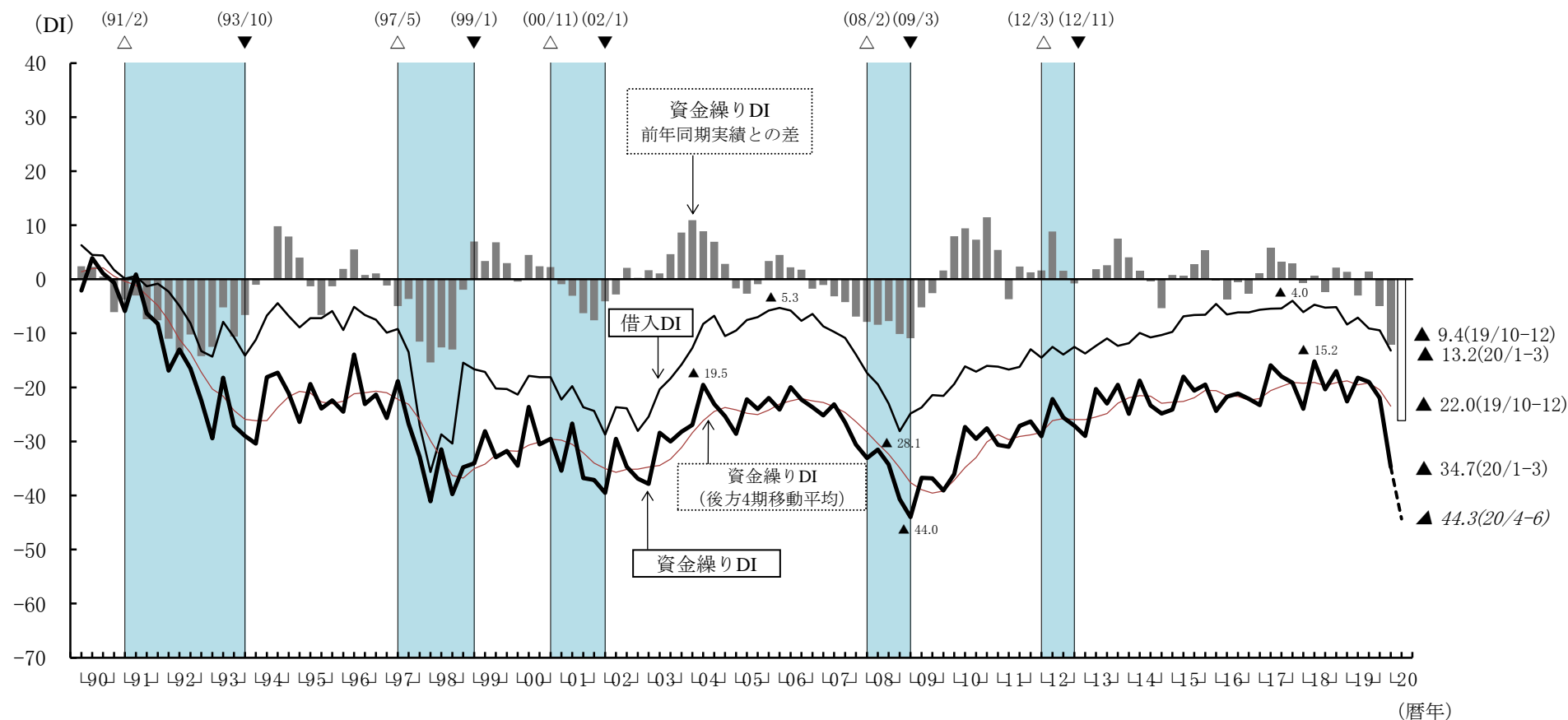
図－5 採算DIの推移（全業種計）



## 4 資金繰り、借入

- 今期の資金繰りDI（全業種計）は、前期からマイナス幅が12.7ポイント拡大し、▲34.7となった。来期も、マイナス幅が拡大する見通しである。
- 民間金融機関からの借入状況（全業種計）をみると、今期の借入DIは、前期からマイナス幅が3.8ポイント拡大し、▲13.2となった。

図－6 資金繰りDI、借入DIの推移（全業種計）

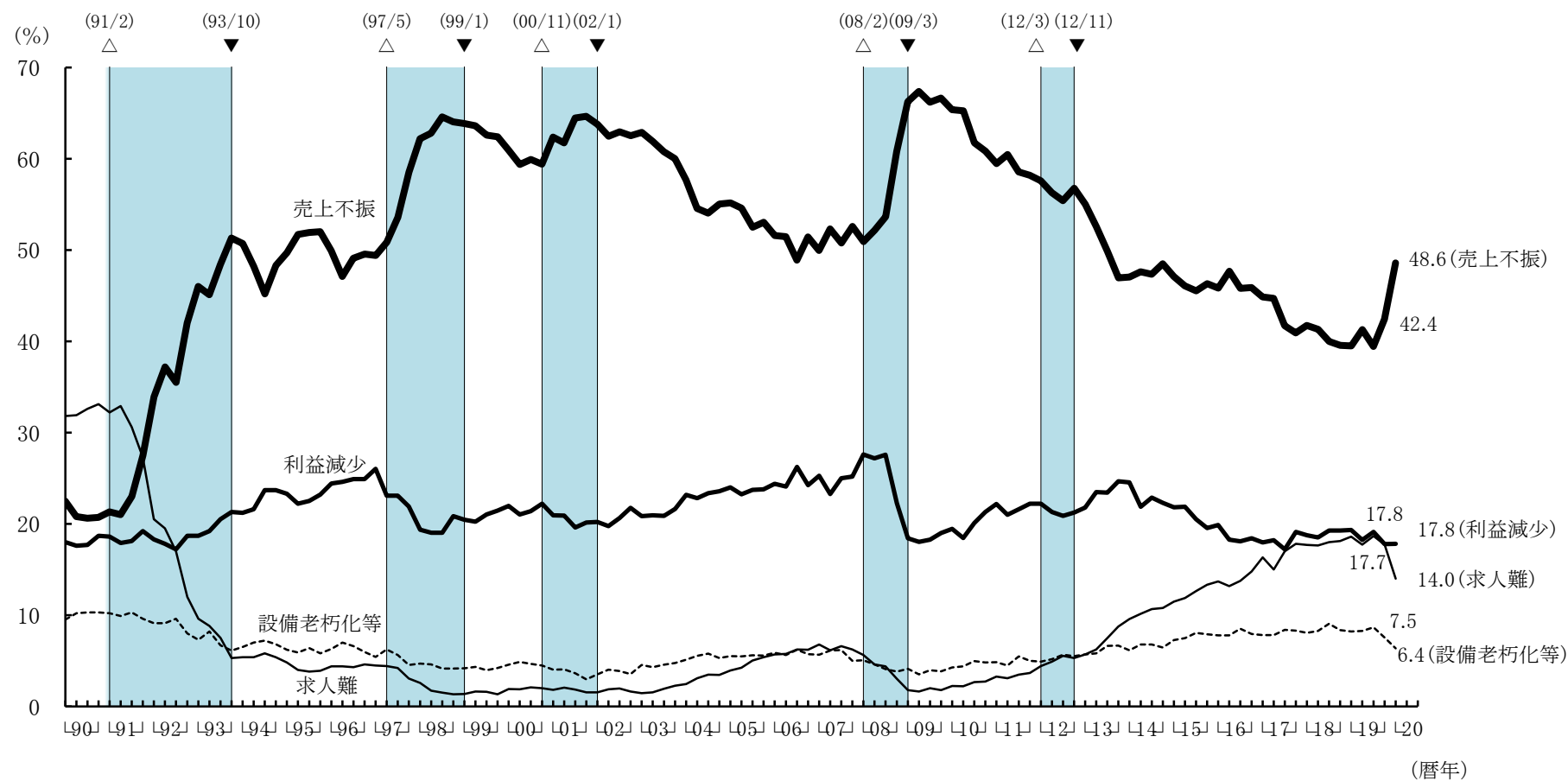


- (注) 1 資金繰りDIは、前期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 借入DIは、前期比で「容易になった」と回答した企業割合から「難しくなった」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 3 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。  
 4 白抜き部分は見通しと前年同期実績との差。

## 5 経営上の問題点

- 当面の経営上の問題点（全業種計）をみると、「売上不振」が48.6%と依然として最も多く、次いで、「利益減少」（17.8%）、「求人難」（14.0%）の順となっている。

図－7 経営上の問題点の推移（全業種計、上位4項目）

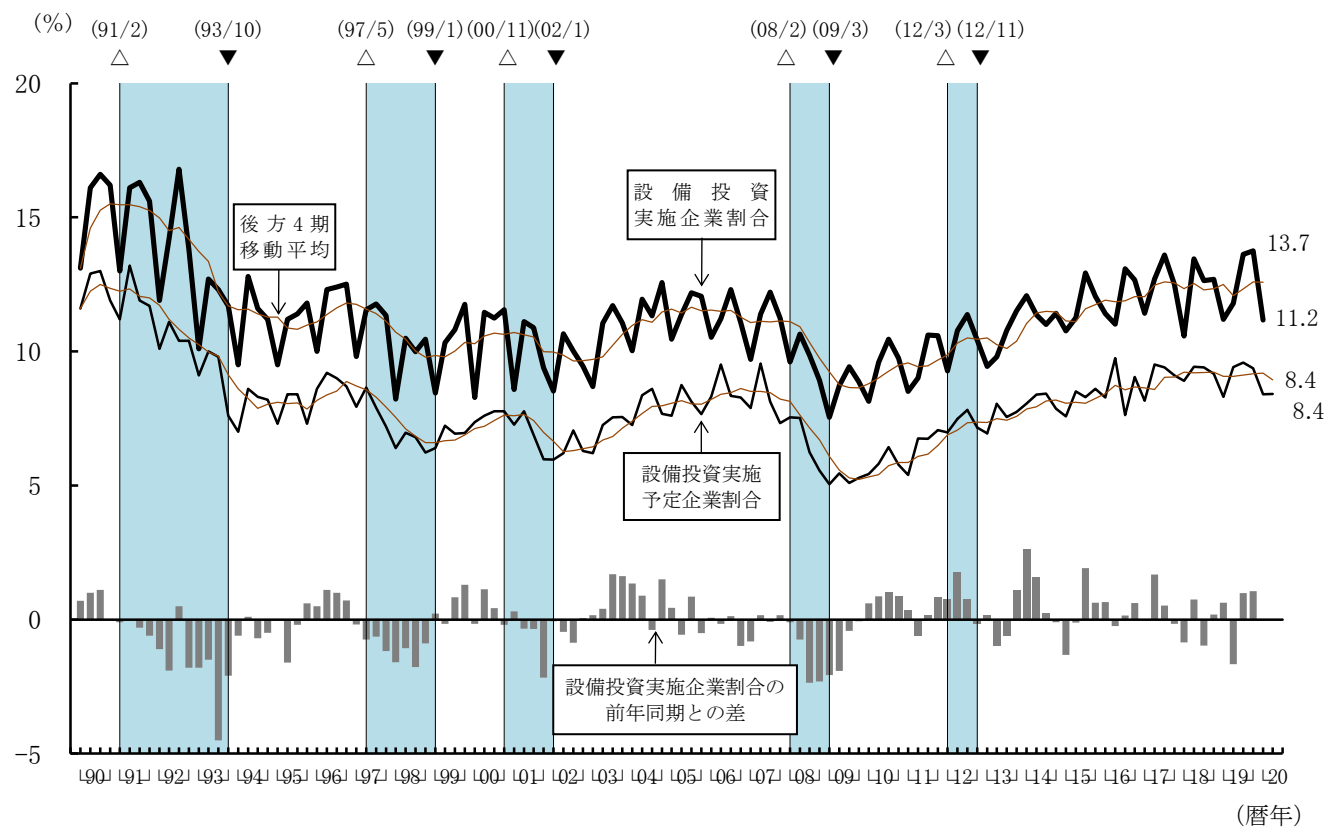


(注) 経営上の問題点（上位4項目）とは、当面の経営上の問題点について択一式で回答を求め、上位4位までを示したものの。

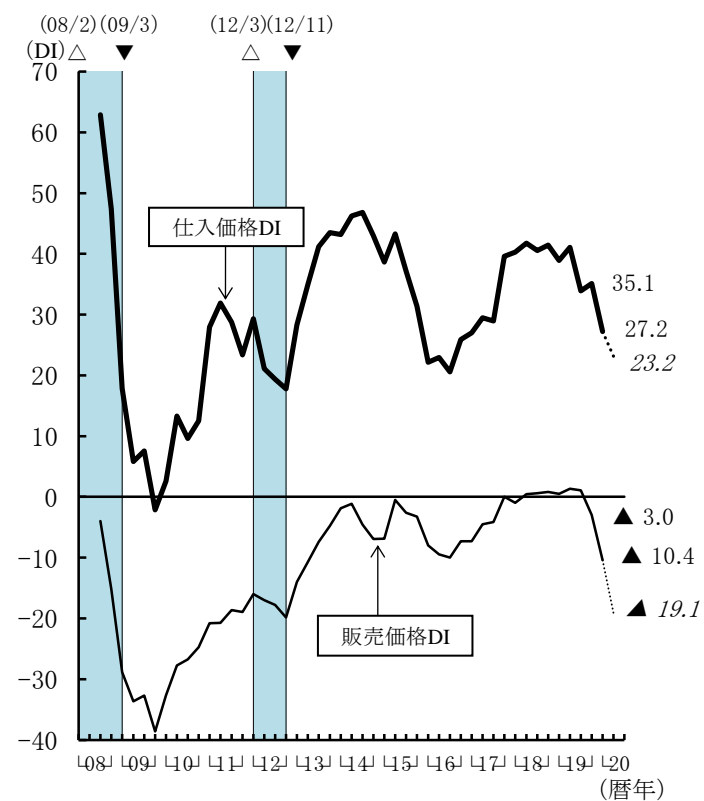
## 6 設備投資、価格動向

- 今期の設備投資実施企業割合（全業種計）は、前期から2.5ポイント低下し、11.2%となった。
- 今期の販売価格DI（全業種計）は、マイナス幅が7.4ポイント拡大し、▲10.4となった。来期もマイナス幅が拡大する見通しである。
- 今期の仕入価格DI（全業種計）は、7.9ポイント低下し、27.2となった。来期も低下する見通しである。

図－8 設備投資実施企業、実施予定企業割合の推移（全業種計）



図－9 販売価格DI、仕入価格DIの推移（全業種計）



- (注) 1 DIは、前年同期比で「上昇」と回答した企業割合から「低下」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。  
 3 2008年7-9月期から調査を実施。



# 中 小 企 業 編

(2020年1－3月期実績、4－6月期および7－9月期見通し)

中小企業の景況は、新型コロナウイルス感染症の影響により  
大幅に下押しされ、厳しい状況になってきている

## [調査の実施要領]

調査時点 2020年3月中旬  
 調査対象 当公庫取引先（原則従業員20人以上） 12,587社  
 有効回答数 5,811社 [回答率 46.2%]

### <業種構成>

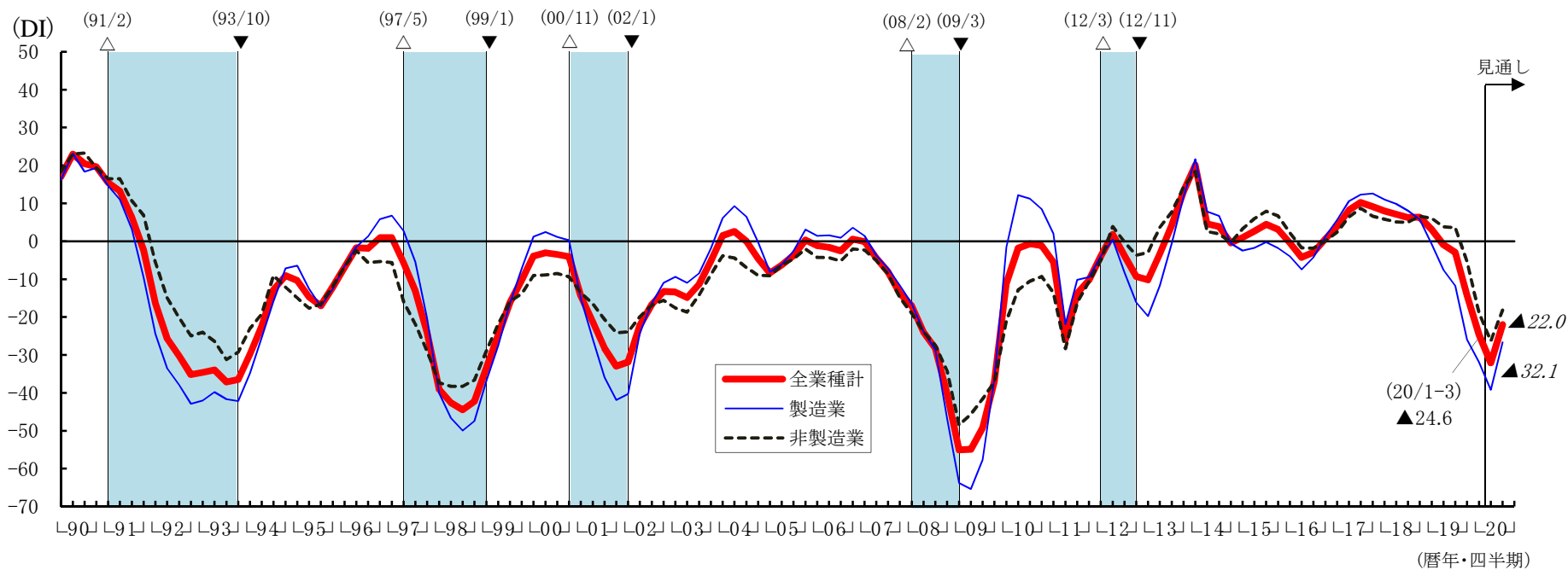
	調査対象	有効回答数		
製造業	5,138社	2,532社	(構成比	43.6%)
鉱業	14社	9社	(同	0.2%)
建設業	1,022社	510社	(同	8.8%)
運送業(除水運)	763社	377社	(同	6.5%)
水運業	173社	74社	(同	1.3%)
倉庫業	67社	36社	(同	0.6%)
情報通信業	276社	103社	(同	1.8%)
ガス供給業	12社	7社	(同	0.1%)
不動産業	805社	327社	(同	5.6%)
宿泊・飲食サービス業	483社	168社	(同	2.9%)
卸売業	1,657社	771社	(同	13.3%)
小売業	908社	370社	(同	6.4%)
サービス業	1,269社	527社	(同	9.1%)

# 1 業況判断

- 今期（2020年1－3月期）の業況判断DIは、前期（2019年10－12月期）からマイナス幅が10.3ポイント拡大し、▲24.6となった。
- 来期（2020年4－6月期）は▲32.1にマイナス幅が拡大し、来々期（2020年7－9月期）は▲22.0となる見通しである。

図－1 業況判断DIの推移（季節調整値）

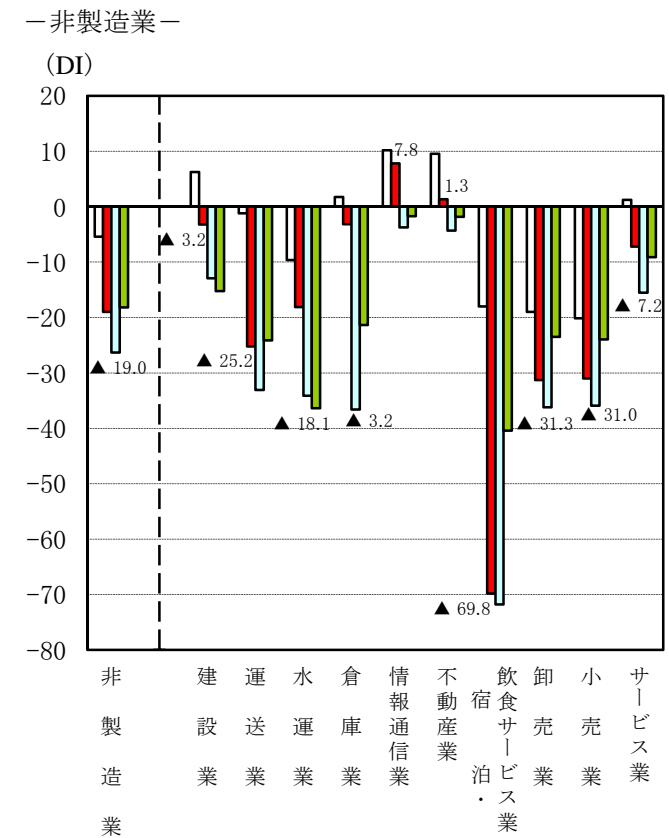
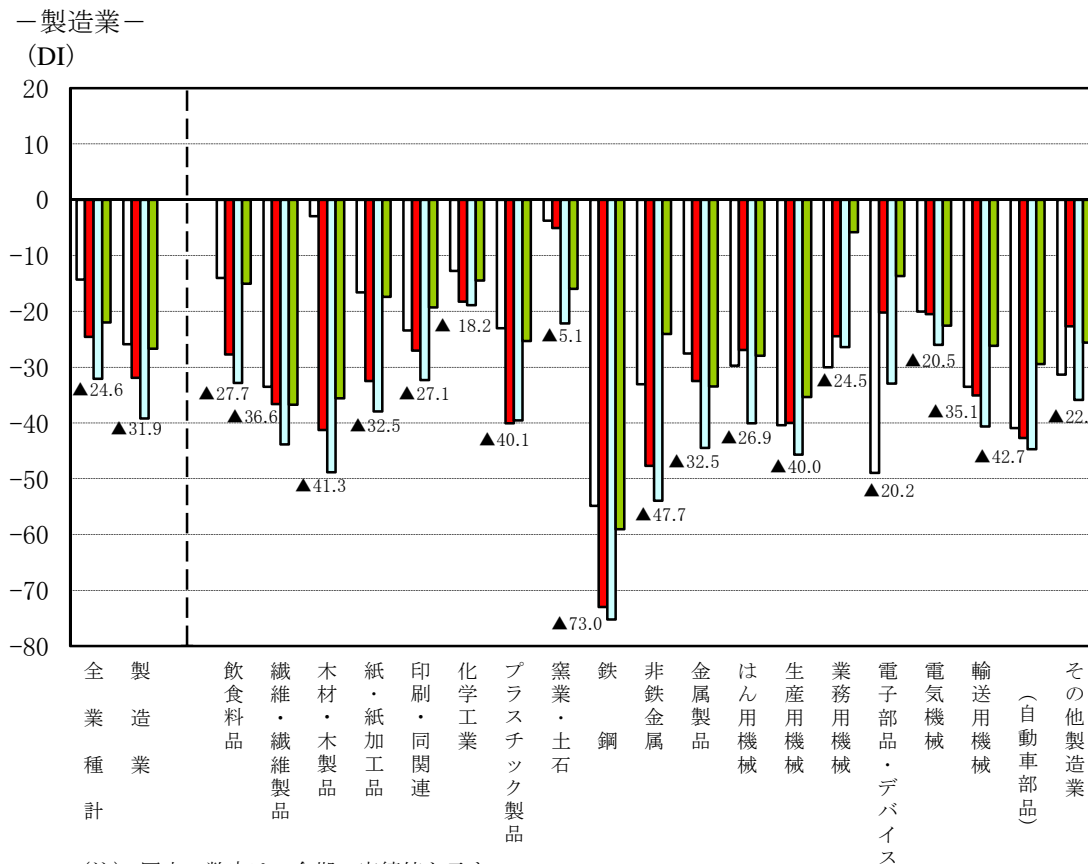
	2019/1-3	2019/4-6	2019/7-9	2019/10-12	2020/1-3 (前回見通し)	2020/4-6 (前回見通し)	2020/7-9
業況判断DI (季節調整値)	3.1	▲ 0.9	▲ 2.9	▲ 14.3	▲ 24.6 (▲ 9.2)	▲ 32.1 (▲ 4.6)	▲ 22.0
製 造 業	▲ 0.8	▲ 7.6	▲ 11.7	▲ 25.9	▲ 31.9 (▲ 16.9)	▲ 39.2 (▲ 8.7)	▲ 26.7
非 製 造 業	6.0	3.8	3.6	▲ 5.4	▲ 19.0 (▲ 3.5)	▲ 26.3 (▲ 1.3)	▲ 18.2



(注) 1 業況判断DIは、調査対象企業の業況が前年同期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値（季節調整値）。  
 2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

- 今期の業況判断DIを業種別にみると、製造業は、電子部品・デバイス、業務用機械、はん用機械等で上昇した。一方、木材・木製品、鉄鋼、プラスチック製品等が低下した。
- 非製造業は、全業種において低下した。

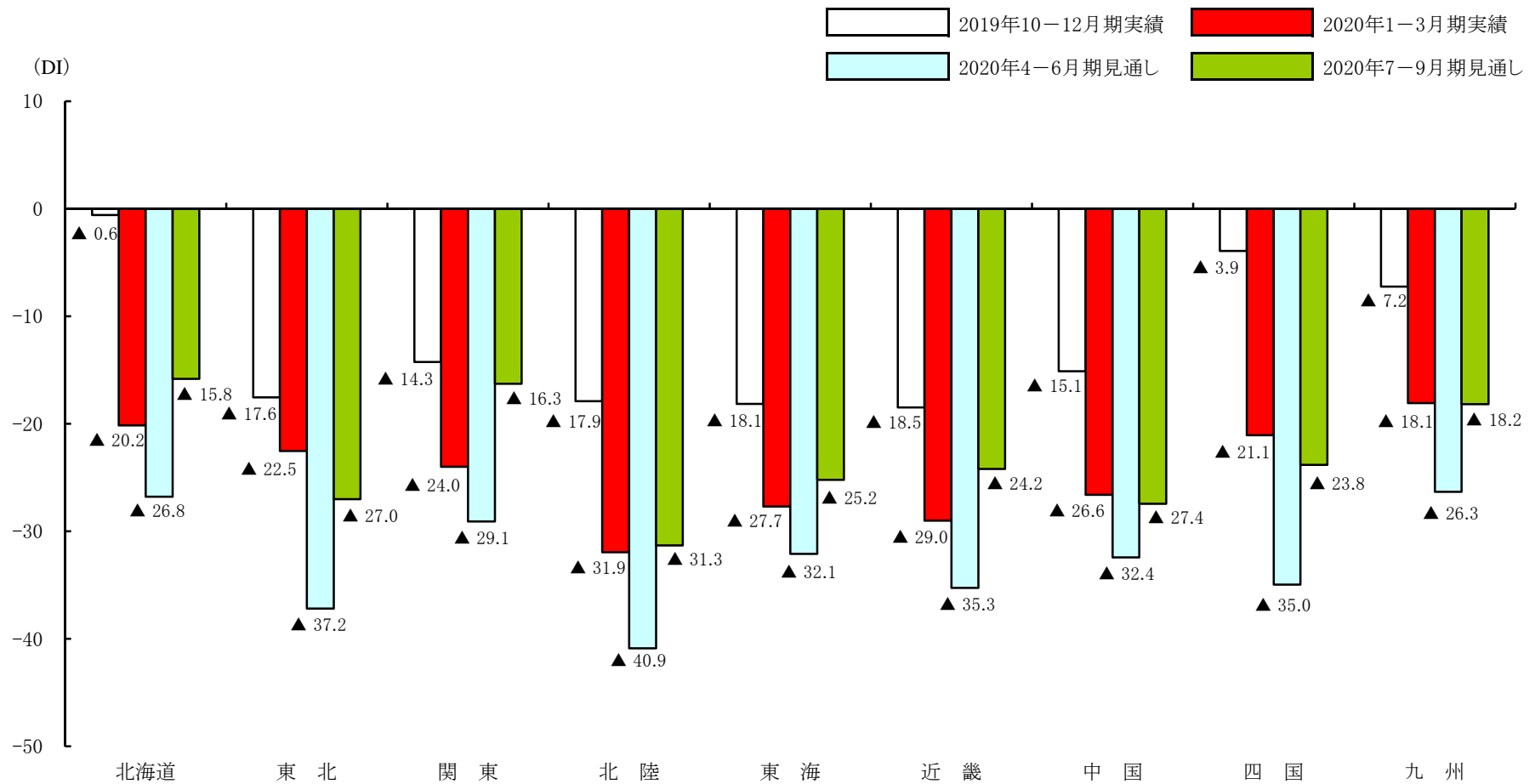
図－2 業種別業況判断DIの推移（季節調整値）



(注) 図中の数字は、今期の実績値を示す。

- 業況判断DIを地域別にみると、今期はすべての地域でマイナス幅が拡大した。
- 来期もすべての地域でマイナス幅が拡大する見通しである。

図－3 地域別業況判断DI（季節調整値）

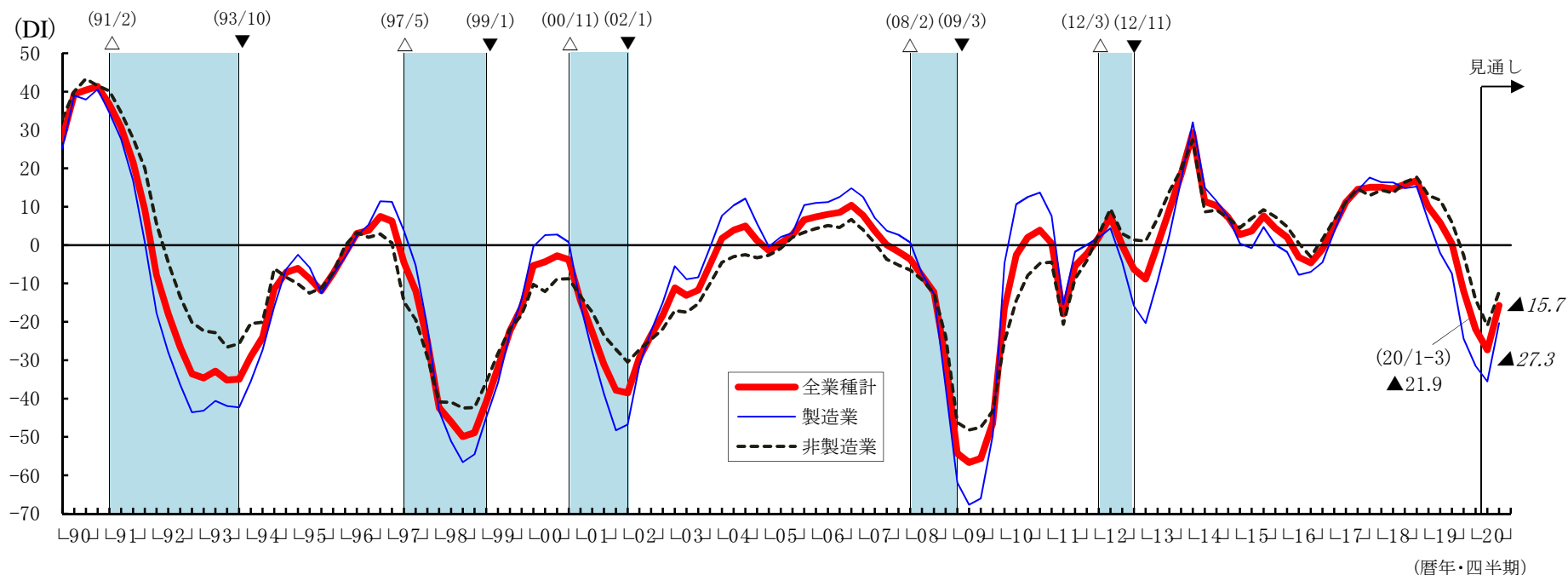


## 2 売 上

- 今期の売上DIは、前期からマイナス幅が9.9ポイント拡大し、▲21.9となった。
- 来期は▲27.3とマイナス幅が拡大し、来々期は▲15.7となる見通しである。

図－4 売上DIの推移（季節調整値）

	2019/1-3	2019/4-6	2019/7-9	2019/10-12	2020/1-3 (前回見通し)	2020/4-6 (前回見通し)	2020/7-9
売上DI (季節調整値)	9.9	5.8	0.4	▲12.0	▲21.9 (▲2.8)	▲27.3 (▲3.1)	▲15.7
製 造 業	6.2	▲2.1	▲7.4	▲24.4	▲31.5 (▲11.7)	▲35.5 (▲0.5)	▲20.4
非 製 造 業	12.9	11.7	5.9	▲2.7	▲14.2 (▲4.2)	▲21.0 (▲6.1)	▲12.3



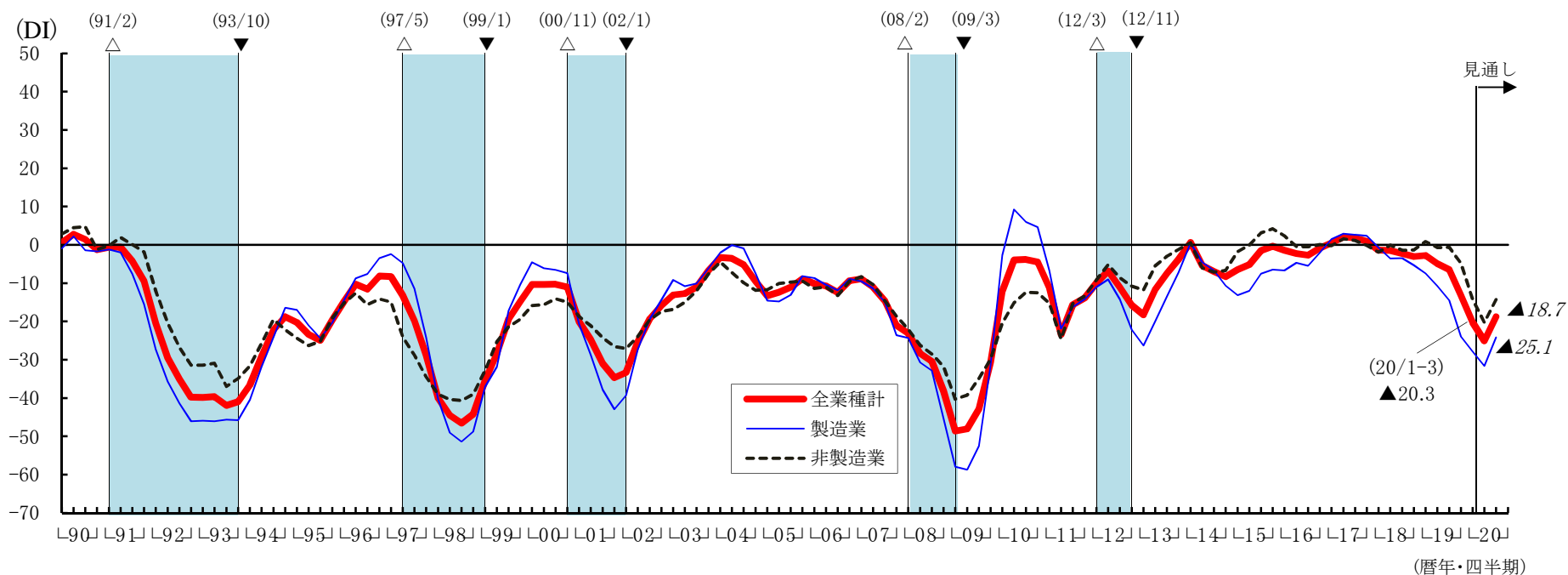
- (注) 1 売上DIは、前年同期比で「増加」企業割合－「減少」企業割合（季節調整値）。  
 2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

### 3 利益

- 今期の純益率DIは、前期からマイナス幅が7.1ポイント拡大し、▲20.3となった。
- 来期は▲25.1とマイナス幅が拡大し、来々期は▲18.7となる見通しである。

図－5 純益率DIの推移（季節調整値）

	2019/1-3	2019/4-6	2019/7-9	2019/10-12	2020/1-3 (前回見通し)	2020/4-6 (前回見通し)	2020/7-9
純益率DI (季節調整値)	▲ 2.7	▲ 4.9	▲ 6.4	▲ 13.2	▲ 20.3 (▲ 10.3)	▲ 25.1 (▲ 6.7)	▲ 18.7
製 造 業	▲ 7.4	▲ 10.7	▲ 14.5	▲ 24.0	▲ 27.9 (▲ 18.7)	▲ 31.6 (▲ 11.4)	▲ 24.2
非 製 造 業	0.9	▲ 0.7	▲ 0.6	▲ 4.9	▲ 14.2 (▲ 3.5)	▲ 20.2 (▲ 3.1)	▲ 14.3



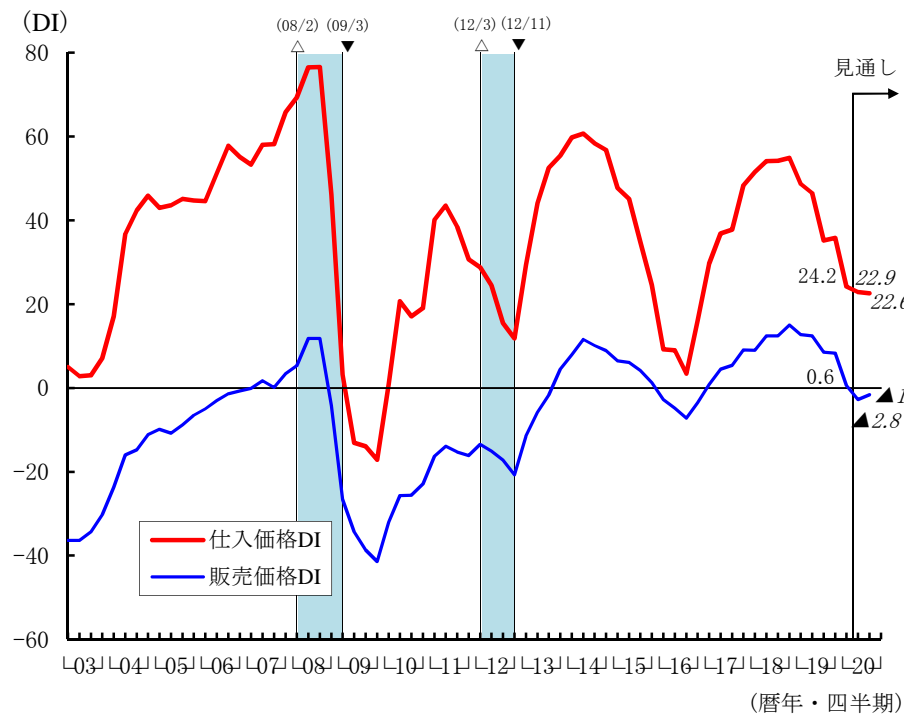
- (注) 1 純益率DIは、前年同期比で「上昇」企業割合－「低下」企業割合（季節調整値）。  
 2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

## 4 価格、金融関連

- 今期の販売価格DIは、前期から7.7ポイント低下し、0.6となった。仕入価格DIは前期から11.6ポイント低下し、24.2となった。来期は販売価格DI、仕入価格DIともに低下する見通しである。
- 今期の資金繰りDI、長期借入難易DI、短期借入難易DIは低下した。

図－6 価格関連DIの推移（原数値）

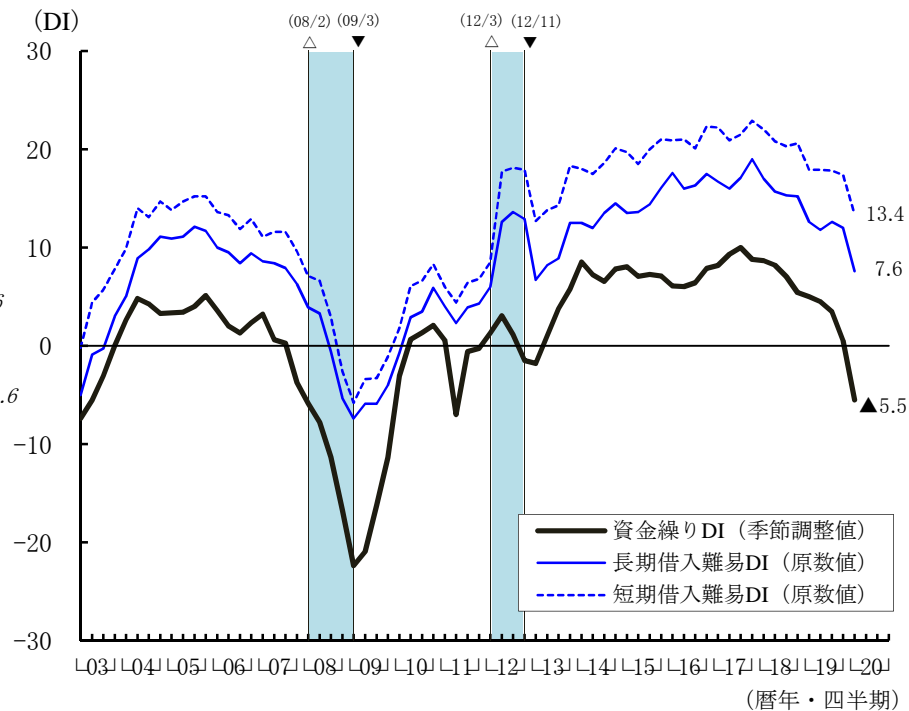
	2019/1-3	2019/4-6	2019/7-9	2019/10-12	2020/1-3	2020/4-6	2020/7-9
販売価格DI	12.7	12.4	8.5	8.3	0.6	▲2.8	▲1.6
仕入価格DI	48.7	46.5	35.2	35.8	24.2	22.9	22.6



- (注) 1 仕入価格DI、販売価格DIともに前年同期比で「上昇」企業割合－「低下」企業割合（原数値）。  
2 図中の数字は今期実績および見通し（斜体）の値を示す。

図－7 金融関連DIの推移

	2019/1-3	2019/4-6	2019/7-9	2019/10-12	2020/1-3
資金繰りDI（季節調整値）	5.0	4.5	3.5	0.5	▲5.5
長期借入難易DI（原数値）	12.6	11.8	12.6	12.0	7.6
短期借入難易DI（原数値）	17.9	17.9	17.8	17.4	13.4



- (注) 1 資金繰りDIは、前年同期比で「好転」企業割合－「悪化」企業割合（季節調整値）。  
2 借入難易DIは、前年同期比で「容易」企業割合－「困難」企業割合（原数値）。  
3 図中の数字は今期の実績値を示す。

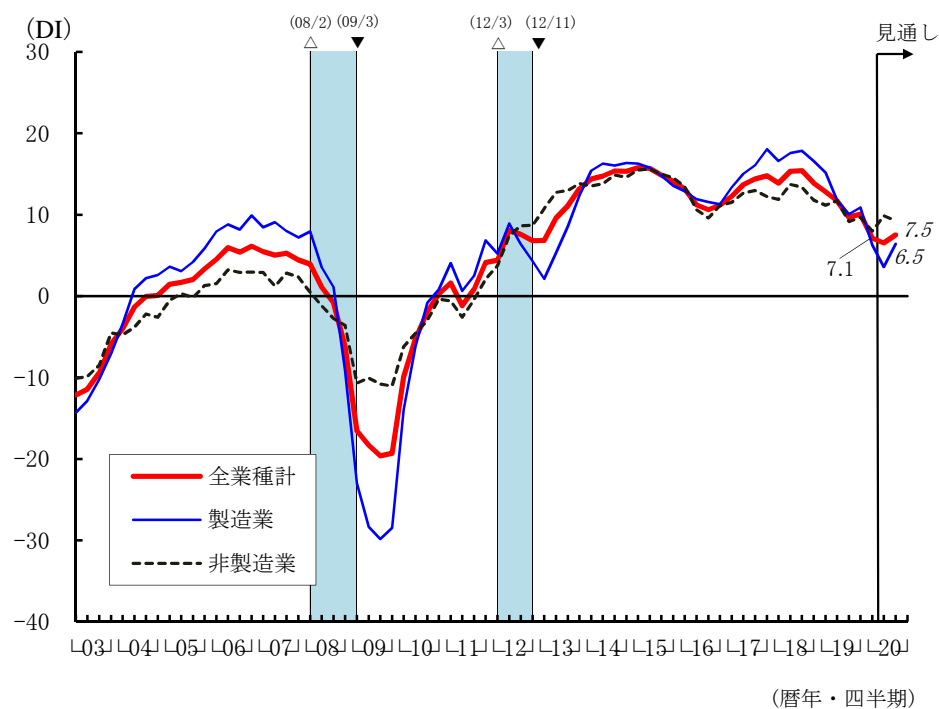


## 5 雇用、設備

- 今期の従業員DIは、前期から3.0ポイント低下し、7.1となった。来期も低下する見通しである。
- 今期の設備投資実施企業割合は、前期から4.5ポイント低下し、35.3%となった。

図－8 従業員DIの推移（季節調整値）

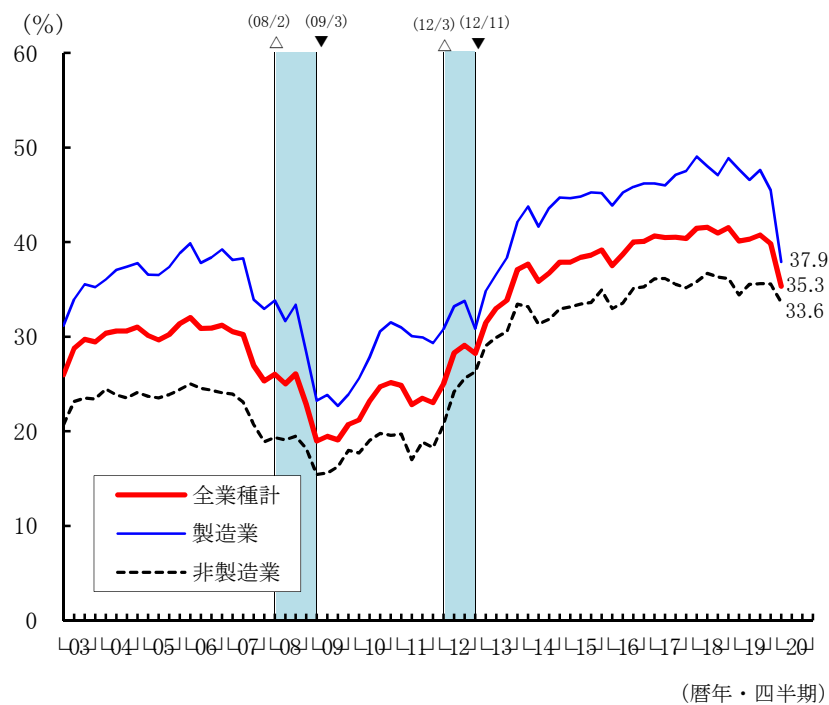
	2019/1-3	2019/4-6	2019/7-9	2019/10-12	2020/1-3	2020/4-6	2020/7-9
全業種計	12.8	11.7	9.7	10.1	7.1	6.5	7.5
製造業	15.2	11.8	10.0	10.9	6.3	3.6	6.4
非製造業	11.2	11.7	9.2	9.7	8.0	9.8	9.3



(注) 1 従業員DIは、前年同期比で「増加」企業割合－「減少」企業割合（季節調整値）。  
2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

図－9 設備投資実施企業割合の推移（季節調整値）

	2019/1-3	2019/4-6	2019/7-9	2019/10-12	2020/1-3
全業種計	40.1	40.3	40.8	39.8	35.3
製造業	47.7	46.6	47.6	45.5	37.9
非製造業	34.4	35.5	35.6	35.6	33.6



(注) 図中の数字は今期の実績値を示す。

## 6 経営上の問題点

- 当面の経営上の問題点をみると、「売上・受注の停滞、減少」が46.8%と最も多く、次いで、「求人難」(23.1%)、「人件費や支払利息等の増加」(5.0%)となっている。
- 前回調査と比べると、「売上・受注の停滞、減少」は9.5ポイント上昇し、「求人難」は5.8ポイント低下した。

図-10 経営上の問題点の推移

